

令和元年度第1回高石市国民健康保険運営協議会次第

日時 令和元年6月25日（火）午後2時00分

場所 高石市役所 別館3階会議室312

- ・開会
- ・理事者挨拶
- ・案件

議題1 平成30年度決算見込及び国保財政健全化への取組について

（報告）

議題2 データヘルス計画（第2期）の概要と進捗状況について

（報告）

議題3 その他

以上

歳入額比較（H29決算・30決算見込）

（単位：円）

区分		29年度 決算額	30年度 決算見込額	差額	伸び率
国民健康保険料	現年度分	1,272,264,100	1,127,294,797	-144,969,303	-11.4%
	過年度分	49,325,400	48,456,756	-868,644	-1.8%
	計	1,321,589,500	1,175,751,553	-145,837,947	-11.0%
一部負担金		0	0	0	0.0%
使用料及び手数料		590,357	507,480	-82,877	-14.0%
府支出金	保険給付費等交付金(普通交付金)	0	4,677,736,256	4,677,736,256	100.0%
	保険給付費等交付金(特別交付金)	0	110,438,000	110,438,000	100.0%
	事業助成補助金	9,141,858	7,055,674	-2,086,184	-22.8%
	高額医療共同事業負担金	43,270,100	0	-43,270,100	-100.0%
	特定健康診査等負担金	9,636,000	0	-9,636,000	-100.0%
	財政調整交付金	297,732,000	0	-297,732,000	-100.0%
	計	359,779,958	4,795,229,930	4,435,449,972	1232.8%
繰入金 一般会計	保険基盤安定(軽減分)	277,395,955	261,331,258	-16,064,697	-5.8%
	保険基盤安定(支援分)	144,207,259	129,659,951	-14,547,308	-10.1%
	職員給与等	89,410,000	97,528,000	8,118,000	9.1%
	出産育児一時金等	17,650,294	11,455,994	-6,194,300	-35.1%
	財政安定化支援事業	40,000,000	100,848,000	60,848,000	152.1%
	その他	67,000,000	24,308,000	-42,692,000	-63.7%
	計	635,663,508	625,131,203	-10,532,305	-1.7%
諸収入		10,938,895	4,435,815	-6,503,080	-59.4%
	療養給付費負担金	1,148,072,778	0	-1,148,072,778	-100.0%
	高額医療共同事業負担金	43,270,100	0	-43,270,100	-100.0%
	特定健康診査等負担金	9,636,000	0	-9,636,000	-100.0%
	普通調整交付金	359,748,000	0	-359,748,000	-100.0%
	特別調整交付金	88,098,000	0	-88,098,000	-100.0%
	国保標準システム補助金	6,696,000	0	-6,696,000	-100.0%
	計	1,655,520,878	0	-1,655,520,878	-100.0%
療養給付費交付金		110,923,000	0	-110,923,000	-100.0%
前期高齢者交付金		2,109,913,481	0	-2,109,913,481	-100.0%
共同事業交付金		1,713,297,824	0	-1,713,297,824	-100.0%
歳入合計(単年度収入)		7,918,217,401	6,601,055,981	-1,317,161,420	-16.6%

歳出額比較（H29決算・30決算見込）

（単位：円）

区分	29年度 決算額	30年度 決算見込額	差額	伸び率	
総務費	81,321,132	92,583,734	11,262,602	13.8%	
保険給付費	療養給付費	3,984,028,637	3,903,778,588	-80,250,049	-2.0%
	療養費	102,762,893	91,845,824	-10,917,069	-10.6%
	審査支払手数料	13,054,466	9,344,380	-3,710,086	-28.4%
	①小計	4,099,845,996	4,004,968,792	-94,877,204	-2.3%
	高額療養費	597,760,189	594,255,025	-3,505,164	-0.6%
	移送費	0	3,260	3,260	100.0%
	出産育児諸費	26,488,042	17,191,130	-9,296,912	-35.1%
	葬祭諸費	3,400,000	4,370,000	970,000	28.5%
	精神・結核医療給付費	8,660,169	8,473,408	-186,761	-2.2%
	②小計	636,308,400	624,292,823	-12,015,577	-1.9%
	計(①+②)	4,736,154,396	4,629,261,615	-106,892,781	-2.3%
国民健康保険事業 費納付金	医療費給付費分	0	1,234,547,033	1,234,547,033	100.0%
	後期高齢者支援金等分	0	299,108,677	299,108,677	100.0%
	介護納付金分	0	105,634,801	105,634,801	100.0%
	計	0	1,639,290,511	1,639,290,511	100.0%
保健事業費	特定健康診査等事業費	29,237,300	28,320,230	-917,070	-3.1%
	保健事業費	25,169,298	23,096,464	-2,072,834	-8.2%
保険給付費等交付金償還金	0	0	0	0.0%	
公債費	3,710,007	1,373,171	-2,336,836	-63.0%	
諸支出金	36,388,021	132,854,382	96,466,361	265.1%	
後期高齢者支援金等	後期高齢者支援金	747,143,902	0	-747,143,902	-100.0%
	後期 事務費拠出金	49,507	0	-49,507	-100.0%
	病床転換事務費拠出金	4,805	0	-4,805	-100.0%
	計	747,198,214	0	-747,198,214	-100.0%
前期高齢者支援金等	前期高齢者納付金	2,713,616	0	-2,713,616	-100.0%
	事務費拠出金	52,419	0	-52,419	-100.0%
	計	2,766,035	0	-2,766,035	-100.0%
老人保健拠出金	事務費拠出金	15,679	0	-15,679	-100.0%
介護納付金	281,057,961	0	-281,057,961	-100.0%	
共同事業拠出金	1,644,806,654	0	-1,644,806,654	-100.0%	
小計(単年度支出)	7,587,824,697	6,546,780,107	-1,041,044,590	-13.7%	
基金等積立金	0	0	0	0.0%	
前年度繰上充用金	735,408,635	405,015,931	-330,392,704	-44.9%	
歳出合計	8,323,233,332	6,951,796,038	-1,371,437,294	-16.5%	

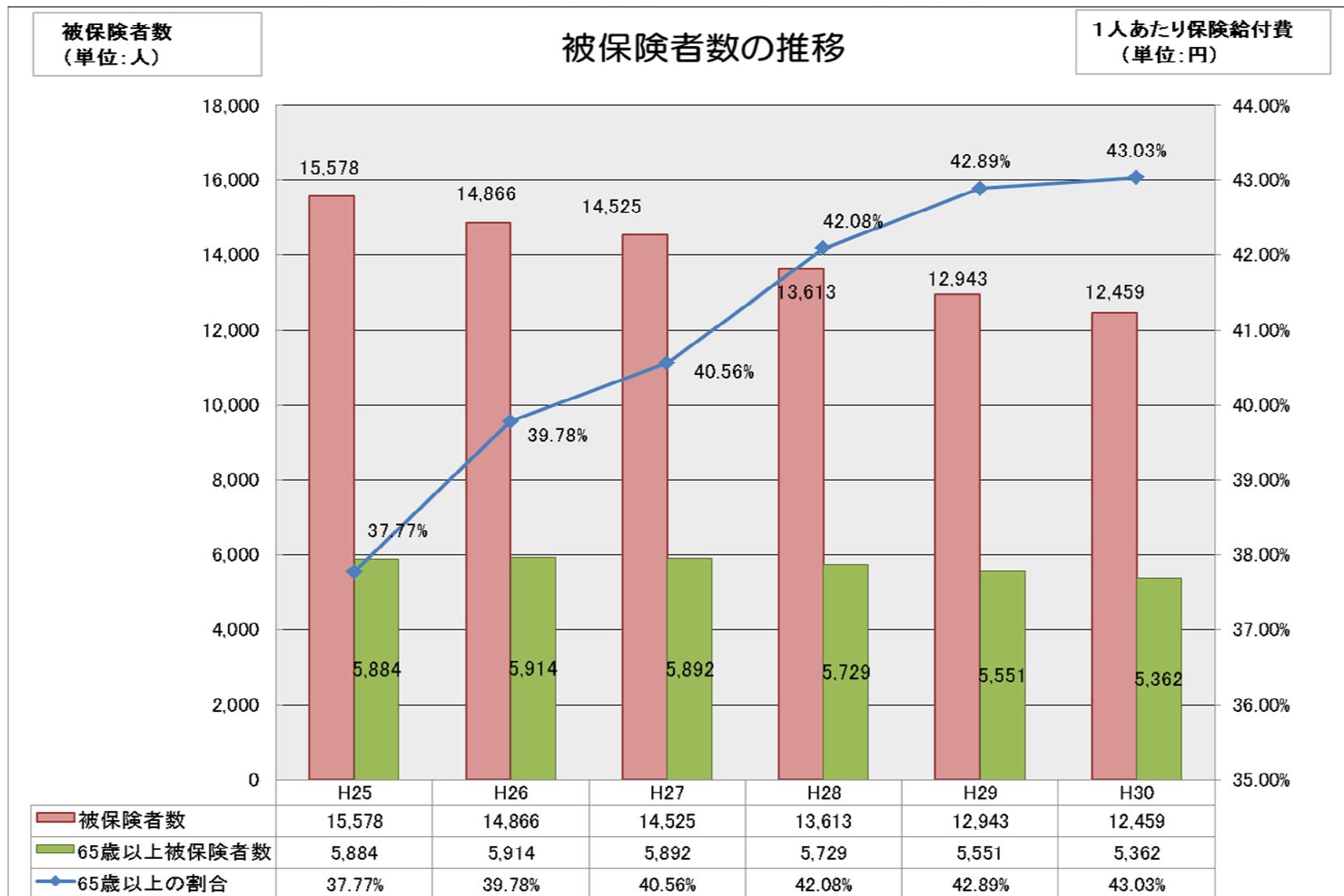
歳入歳出総額の比較（H29決算・30決算見込）

単年度収支差引額	330,392,704	54,275,874	-276,116,830	-83.6%
収支差引額	-405,015,931	-350,740,057	54,275,874	-13.4%

高石市国民健康保険 財政健全化に向けての取り組み状況 (H30年度)

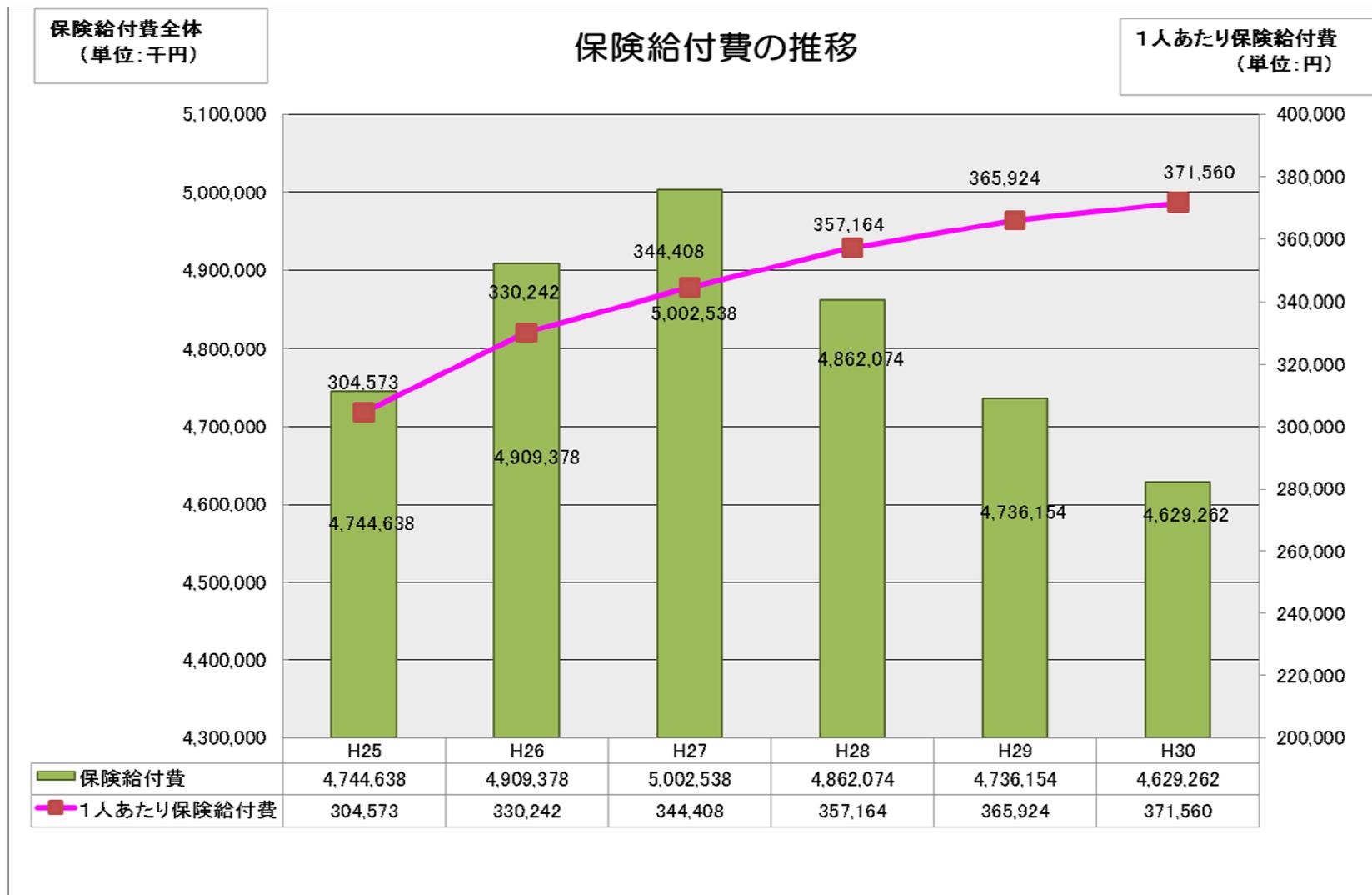
◎被保険者数の推移

社会保険加入資格の拡大により、被保険者数は減少傾向ですが、全被保険者数に占める65以上の被保険者加入割合は増加傾向にあります。



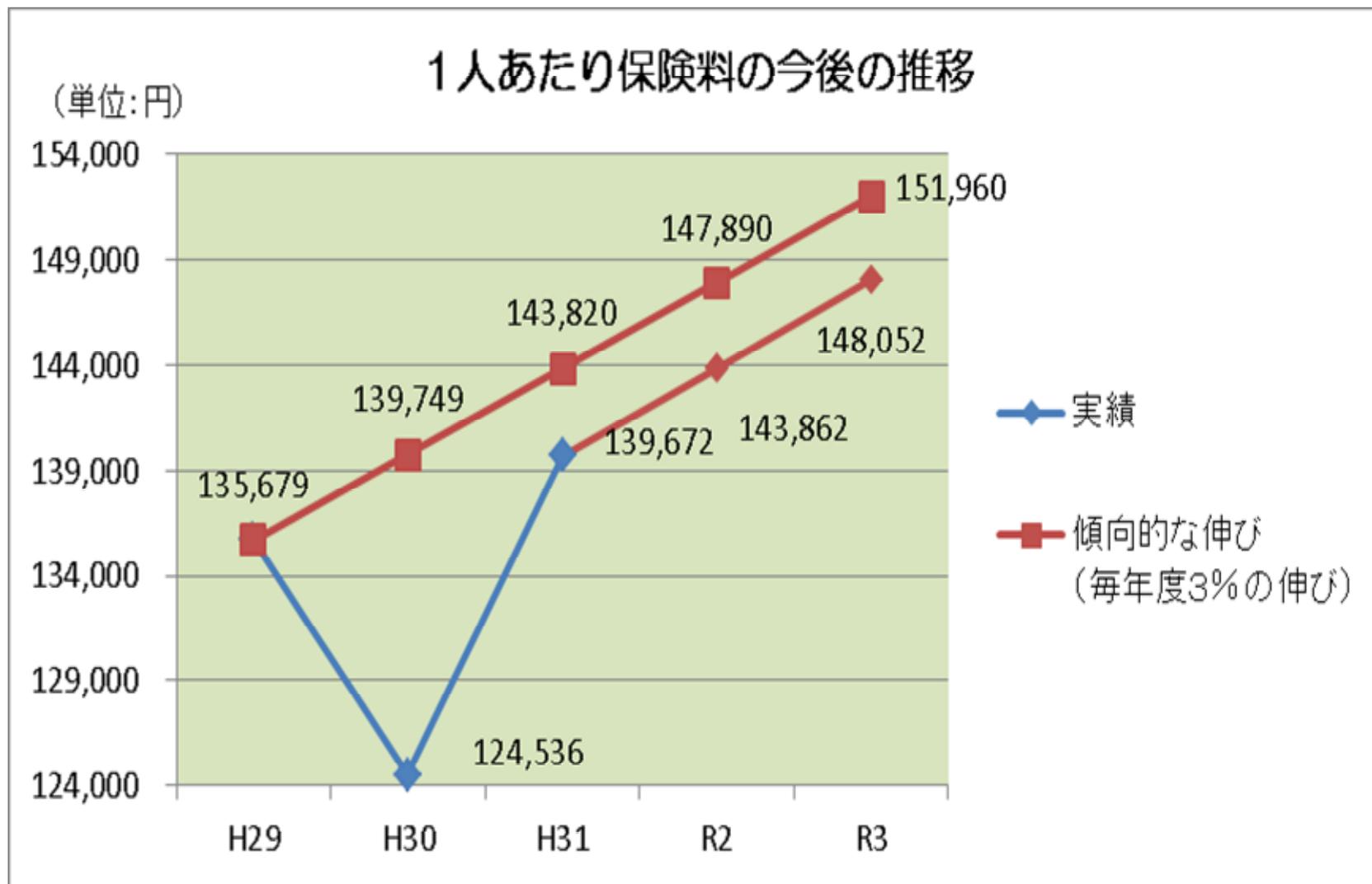
◎保険給付費の推移

被保険者数の減少に比例して、保険給付費が減少している。一方で、一人あたりの保険給付費は増加しており、これは65歳以上の被保険者加入割合の増加が主要な要因と考えられる。



◎保険料の推移

国の1人あたり医療費は毎年度3%程度の伸びを想定していることから、今後保険料についても、毎年度3%の伸びを見込んでいる。



保険給付費の推移（月別）

単位：千円

月	H26	伸率 (%)	H27	伸率 (%)	H28	伸率 (%)	H29	伸率 (%)	H30	伸率 (%)
4	396,573	0.1%	397,670	0.3%	411,614	3.5%	420,223	2.1%	499,072	18.8%
5	434,681	7.7%	419,908	-3.4%	416,625	-0.8%	396,944	-4.7%	393,932	-0.8%
6	422,280	11.2%	396,998	-6.0%	399,873	0.7%	404,997	1.3%	404,222	-0.2%
7	417,329	6.2%	405,077	-2.9%	400,170	-1.2%	396,976	-0.8%	363,887	-8.3%
8	402,784	2.0%	433,560	7.6%	401,348	-7.4%	401,585	0.1%	371,146	-7.6%
9	416,637	2.3%	421,880	1.3%	399,933	-5.2%	398,218	-0.4%	382,621	-3.9%
10	395,258	0.5%	419,221	6.1%	397,123	-5.3%	389,036	-2.0%	373,165	-4.1%
11	391,317	3.6%	416,238	6.4%	397,587	-4.5%	399,603	0.5%	422,737	5.8%
12	426,977	3.4%	430,248	0.8%	399,460	-7.2%	410,854	2.9%	375,816	-8.5%
1	390,650	0.1%	426,526	9.2%	437,580	2.6%	376,639	-13.9%	382,408	1.5%
2	413,721	-0.9%	412,709	-0.2%	409,793	-0.7%	396,441	-3.3%	368,987	-6.9%
3	411,170	8.5%	422,503	2.8%	390,968	-7.5%	344,638	-11.9%	291,604	-15.4%
計	4,909,378	3.5%	5,002,538	1.9%	4,862,074	-2.8%	4,736,154	-2.6%	4,629,597	-2.2%
被保険者数	14,866	-4.6%	14,525	-2.3%	13,613	-6.3%	12,943	-4.9%	12,459	-3.7%
世帯数	8,643	-2.7%	8,580	-0.7%	8,158	-4.9%	7,855	-3.7%	7,661	-2.5%
1人当たり 給付費	330,242	8.4%	344,409	4.3%	357,164	3.7%	365,924	2.5%	371,587	1.5%

◎保険給付費の推移と抑制の取組み

保険給付費の推移

65歳以上の加入割合は依然として増加しているが、1人あたり医療費の伸び率は前年度の数値を下回っており、国の想定伸び率（3%）を下回る状況が、平成29年度以降続いている。

H28	⇒	H29	2.5%
H29	⇒	H30	1.5%

医療費抑制の主な取組

平成25年度～ 医療費適正化施策の強化

レセプト点検強化、ジェネリック医薬品普及促進
糖尿病重症化予防事業等

平成26年度～ 健幸ポイント事業開始

平成27年度～ 特定健診受診勧奨通知

平成28年度～ 特定健診受診の無料化

取り組み結果

特定健診受診率向上

平成26年度	22.7%
平成30年度	34.6%

ジェネリック医薬品推進

平成27年度	59.2%
平成30年度	70.3%

◎健全化の取組内容と目標・実績

健全化の取組内容と目標・実績

項目	内容	実施年度	目標	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
収納対策	収納率の向上	-	-	91.41%	92.38%	92.45%	92.78%	93.39%	93.41%	
	口座振替の推進	平成25年度～	10,000千円	5,036千円	10,592千円	15,729千円	13,448千円	16,159千円	14,262千円	平成24年度比（ペイジー導入前）増加額
	滞納分収納額	平成23年度 33,673千円	20,000千円	18,260千円	19,866千円	14,246千円	11,557千円	15,562千円	14,767千円	平成23年度比増加額
	滞納整理の強化	平成25年度～		479千円	2,282千円	0円	565千円	1,915千円	1,371千円	滞納処分額
医療費の適正化	レセプト点検の充実強化	平成25年度～	20,000千円	32,662千円	23,227千円	39,107千円	33,535千円	29,188千円	39,851千円	レセプト点検効果額
特定健診受診率の向上	健診項目の充実	平成25年度～	高石市国保独自の追加検査項目クレアチニン、尿酸等7項目の検査項目を追加実施。							
	特定健診受診PRの強化	平成27年度～	受診勧奨通知方法変更・健幸ポイント事業開始・自己負担額無料化							
	受診率	平成25年度～	—	22.30%	22.70%	27.80%	34.50%	36.60%	34.60% (見込)	
特別調整交付金の確保	評価基準の実施	平成25年度～	20,000千円	国 52,165千円 府 50,780千円	国 54,186千円 府 75,737千円	国 56,157千円 府 59,077千円	国 22,725千円 府 70,405千円	国 53,539千円 府 61,244千円	国 61,854千円 府 30,364千円	平成23年度国・府特別調整交付金を基準とした差額（平成30年度より新制度に移行のため、交付額を記載）
一般会計からの法定外繰入の実施		平成25年度～	67,000千円	67,000千円	67,000千円	67,000千円	67,000千円	67,000千円	24,308千円	

特別調整交付金の確保

平成30年度より、新制度に移行したため、評価基準が変更となっている。

【国庫】

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	満点865点	満点885点	満点935点	満点975点	満点975点	満点850点
府下順位	5位	6位	18位	20位	15位	16位
点数	640点	675点	660点	720点	775点	496点
交付金額	86,724千円	88,745千円	90,716千円	57,284千円	88,098千円	67,854千円

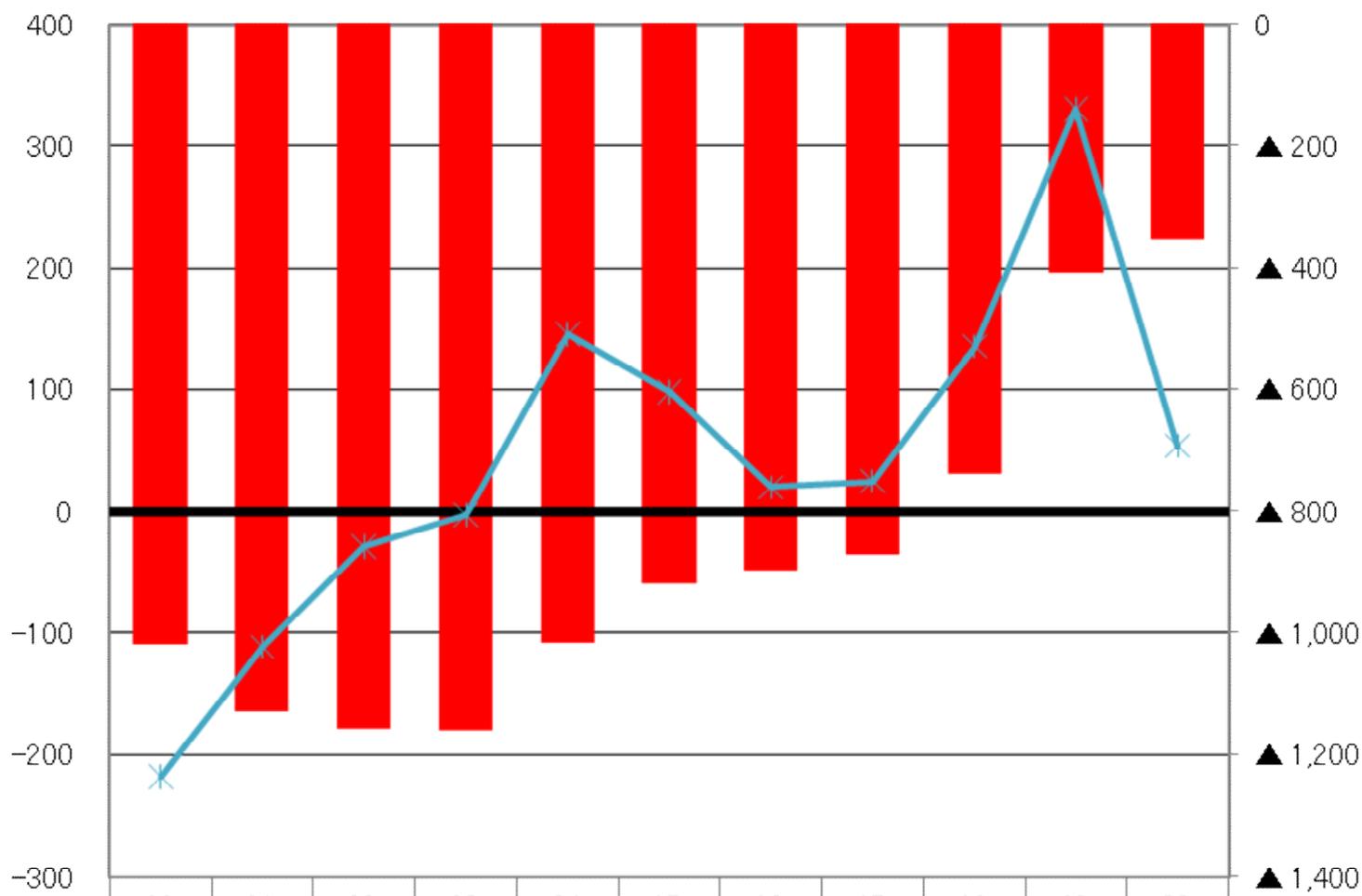
【府費】

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	満点300点	満点300点	満点300点	満点300点	満点300点	満点500点
府下順位	38位	17位	23位	29位	13位	34位
点数	128点	208点	225点	228点	265点	213点
交付金額	87,237千円	112,194千円	95,534千円	106,862千円	97,701千円	30,364千円

国保財政健全化に向けての今後の課題

- ① 病気の早期発見・早期予防
(特定健診・がん検診受診率向上)
- ② 重症化予防の取組み
- ③ 市民の健康意識向上 (健幸づくり施策の推進)
- ④ 収納率の向上
- ⑤ 保険者努力支援制度の確保

国保特会収支の状況

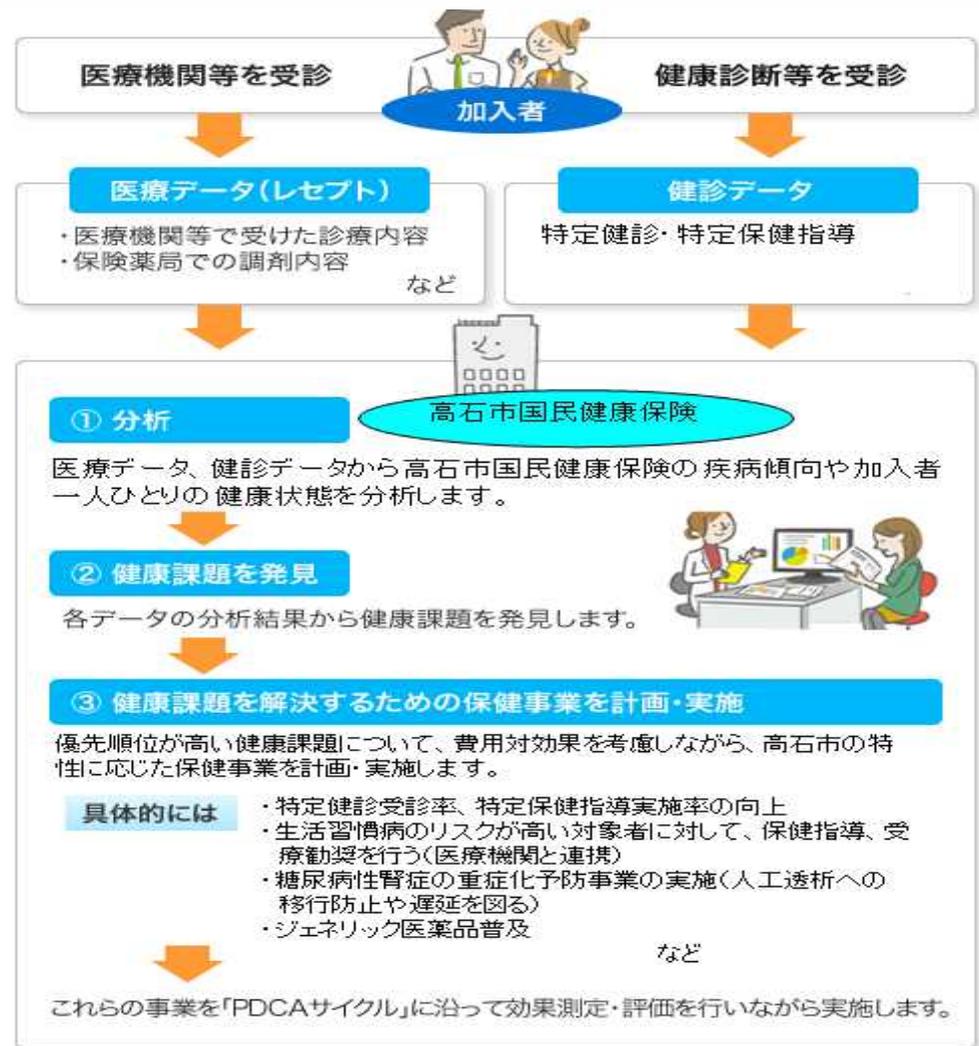


■ 累積赤字額(百万円)	▲ 1,016	▲ 1,127	▲ 1,156	▲ 1,159	▲ 1,014	▲ 916	▲ 895	▲ 869	▲ 735	▲ 405	▲ 351
◆ 単年度収支(百万円)	▲ 218	▲ 111	▲ 29	▲ 3	145	98	20	25	135	330	54

高石市国民健康保険 データヘルス計画（第2期） 平成30年度～平成35年度

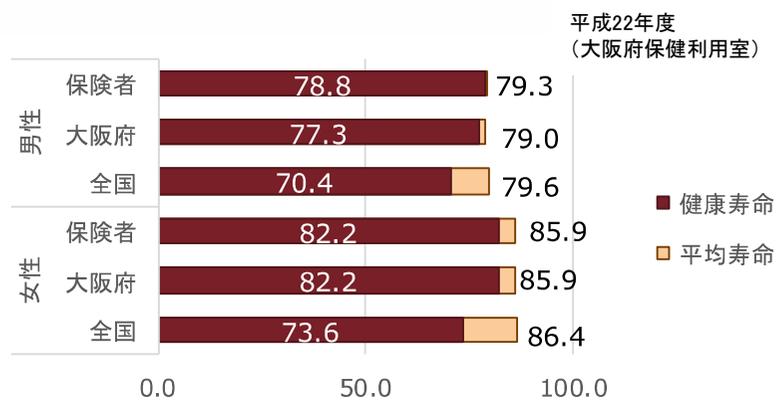
平成31年度第1回
国民健康保険運営協議会
資料

1. データヘルス計画について
2. 高石市の現状
3. 保健事業の目標設定と優先的な取り組み
4. 特定健診受診率の向上
5. 特定保健指導実施率の向上
6. 生活習慣病重症化予防対策
7. その他の保健事業



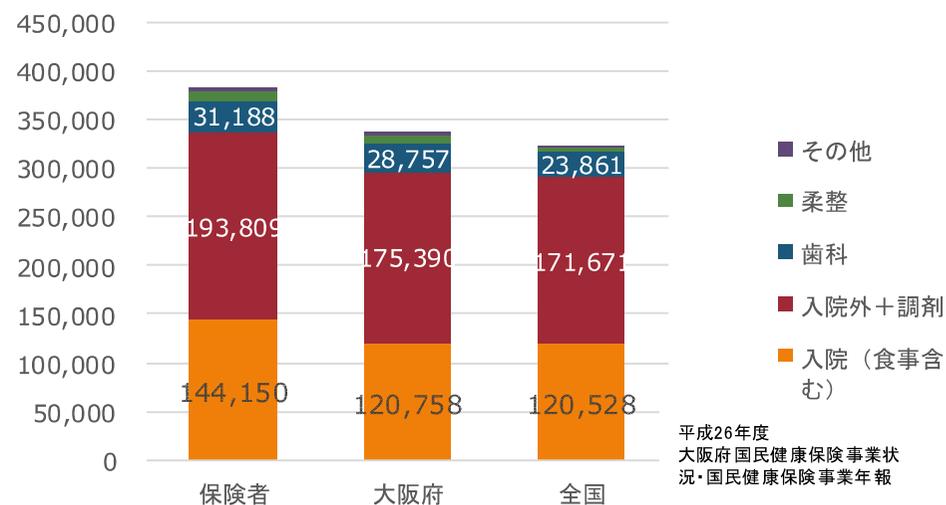
2.高石市の現状

男女別の平均寿命・健康寿命



・平均寿命は全国平均を下回るが、健康寿命は全国平均を上回る。→健康上の問題で日常生活が制限されることのない生活期間が短い。

医療費の状況

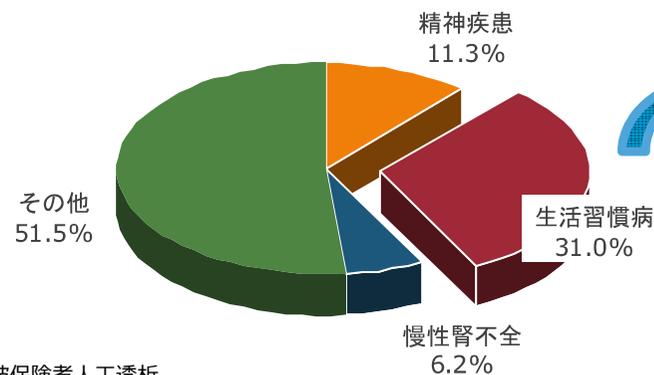


一人当たりの年間医療費は、全国・大阪府平均を比べて高くなっている。

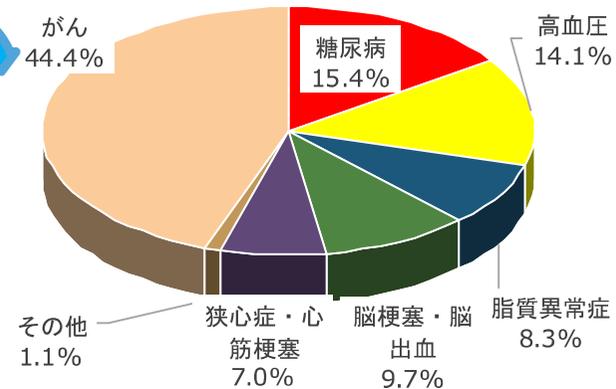
*全国集計最新が収集できる平成26年度で比較

2.高石市の現状（生活習慣病の状況）

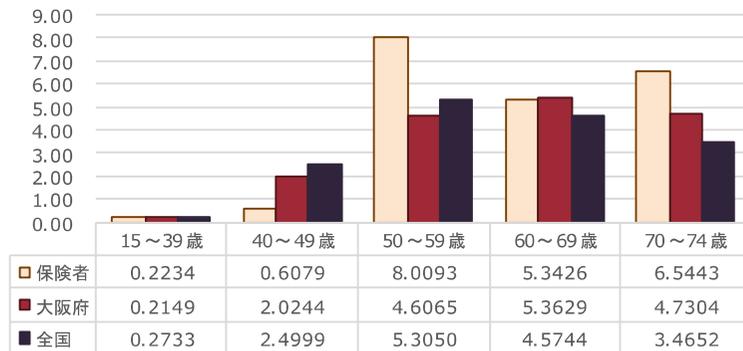
総医療費に占める生活習慣病の割合、生活習慣病の内訳



生活習慣病の多くは予防可能です



年齢階級別被保険者人工透析
千人当たりレセプト数（平成28年度）

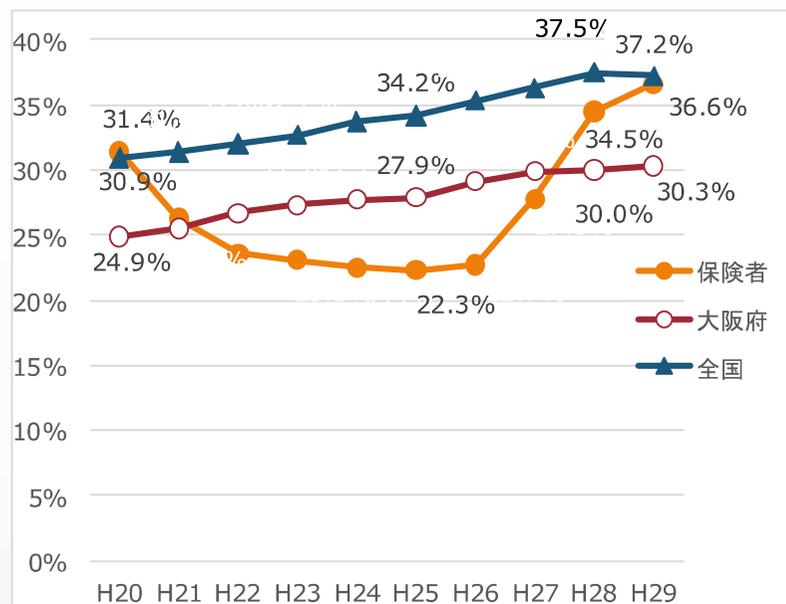


生活習慣病が重症化した結果発症する「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「人工透析」のレセプト件数をみると、高石市では、50歳代の「人工透析」で医療にかかっている方が全国・大阪府平均と比べ高い。

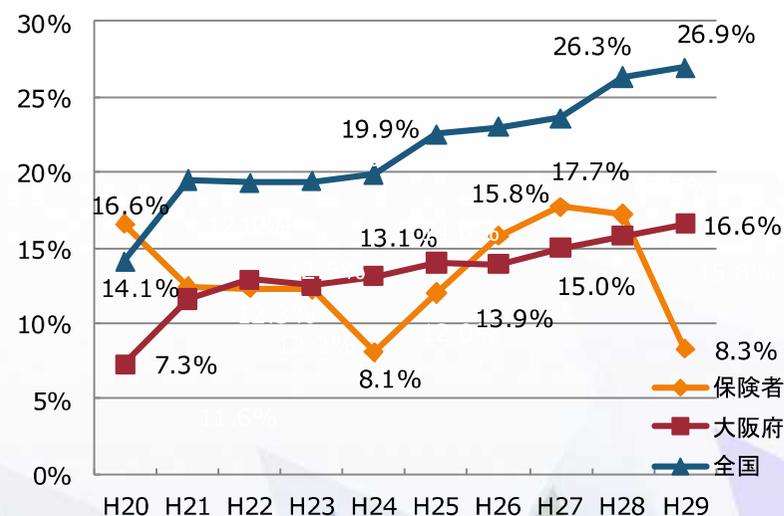
「虚血性心疾患」は60歳代、「脳血管疾患」は40歳以降が多い。

2.高石市の現状（特定健診・特定保健指導）

特定健診受診率の推移



特定保健指導実施率の推移



特定健診受診率は平成27年度から上昇。
 特定保健指導実施率は、年度間の差が見られる。

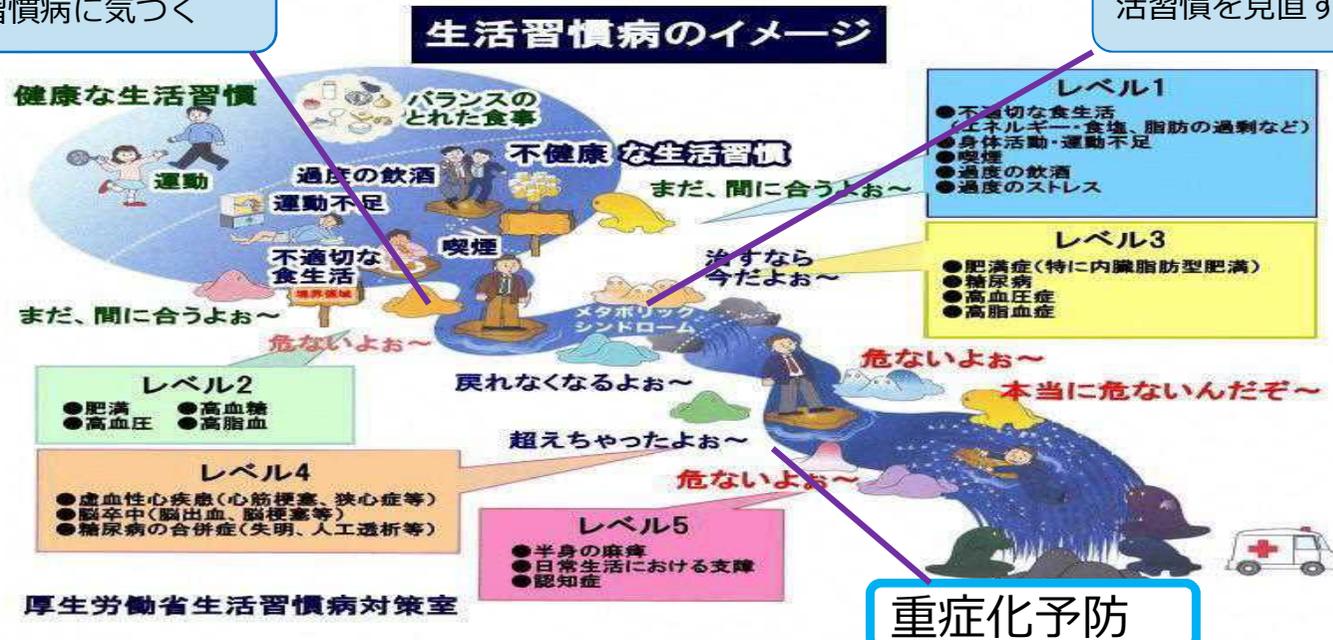
3. 保健事業の目標設定と優先的な取り組み

発見

1. 特定健診を受診し生活習慣病に気づく

進行予防

2. 特定保健指導に参加し生活習慣病を見直す



3. 治療を受けつつ病気と上手につき合う

4. 優先的な保健事業

特定健診受診率の向上

平成30年度の取り組み

1. 受診勧奨通知の実施

未受診者をタイプ別に分類し特性に応じた勧奨通知をのべ12,570通発送

高石市の健診申し込みの流れ
受診者は1円未満の特設金割(0.3%)と健幸ポイントの付が受けられます(詳しくはホームページをご覧ください)

個別健診
中面をご覧の上、予約してください

集団健診

Step 1 健診日を選ぶ	健診日
会場	9月28日(金)
総合	9月30日(日)
保健センター	10月18日(木)
[受付時間]	11月 6日(火)
9:15~11:30	2月 1日(金)

Step 2 健診会場へ行き、受診する
事前予約は不要です

健診当日の持ち物
①特定健康診査受診券 ②国民健康保険証

③パソコン・携帯電話から「高石市 特定健診」検索
※すでに健診済みの方は、行方不明の手続きを要する場合があります。

医療機関を運べる「個別健診」の情報は中面へ

「高石市の特定健診(集団)」に行ってきました!

- 健診日を選ぶ
会場も迷いし行ってみようかな...
高石の日程表より、ご都合に合う健診日をお選びください。
- 健診会場へ行き、受診する
予約はいる。会場へ直接行くだけ!
当日は9:15~11:30までの間に受付までお越しください。
- 受付後、検査する
当日の検査内容
国民健康保険受診券を証と受診券を持ってきてください!
血液検査 身体測定 視力 聴力
血圧測定 問診
受付の方の対応がとても親切で安心しました!
約1時間で終了!やっぱり、受けて良かったです!
検査結果は約4週間後に郵送されます。

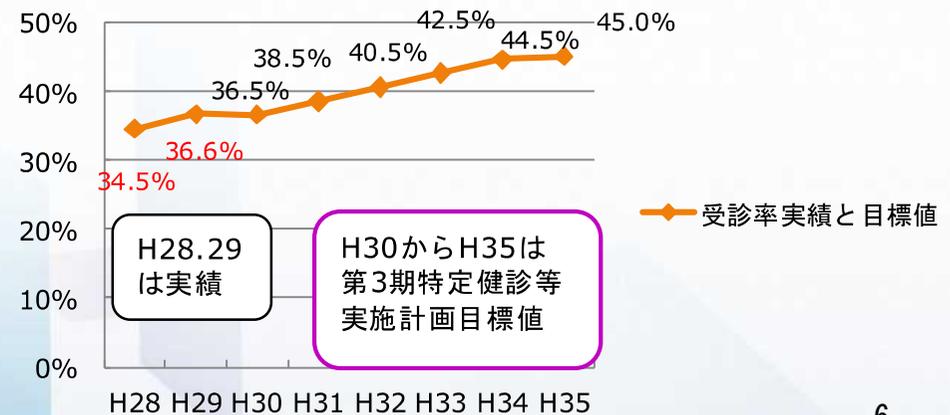
よくある質問にお答えします 健診の費用はいくらですか? 0円
高石市では、国民健康保険が健診費用の全額を負担するので、約1,000円かかる検査を無料で受けられます。

2. 健幸ポイント事業の活用

↓
平成30年度特定健診受診率(見込み) **34.6%**

平成31年度の取り組み

1. 集団健診全日程で肺がん検診を同時実施(11回中5回は胃・肺・大腸がんを実施)
2. 受診勧奨通知のバージョンアップ
3. 健幸増進イベント型の特定健診の企画等



5.優先的な保健事業の実施 特定保健指導実施率向上

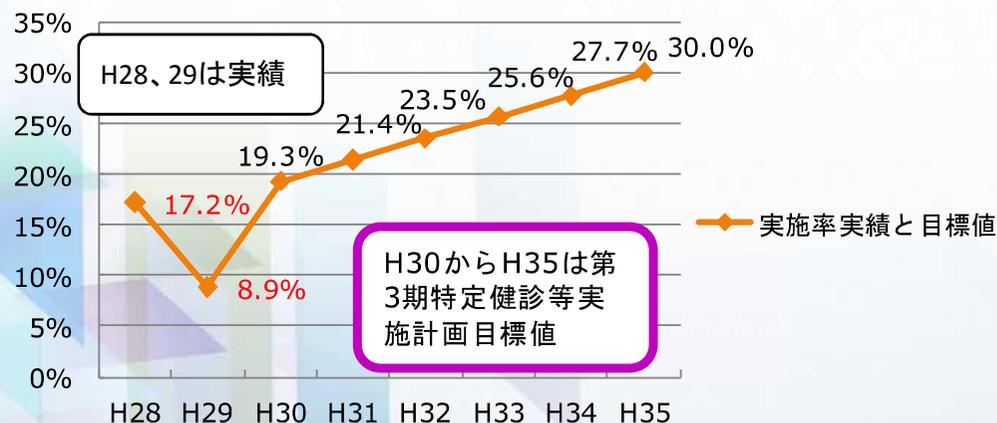
平成30年度の取り組み

1. 特定健診から特定保健指導までの期間の短縮
2. 集団特定健診の場で特定保健指導のPR

平成31年度の取り組み

1. 特定健診当日の特定保健指導の実施
2. 地区医師会との連携
3. 特定健診から特定保健指導までの期間の更なる短縮

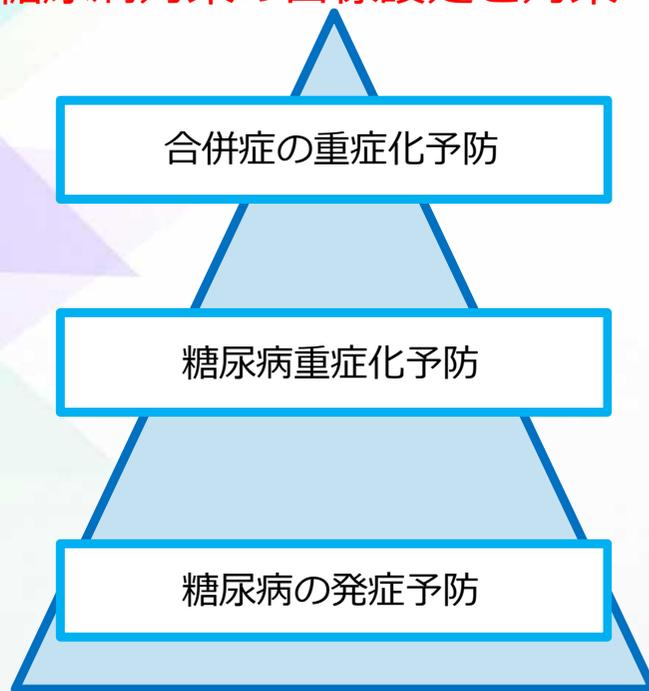
↓
平成30年度実施率
(見込み) **19.7%**



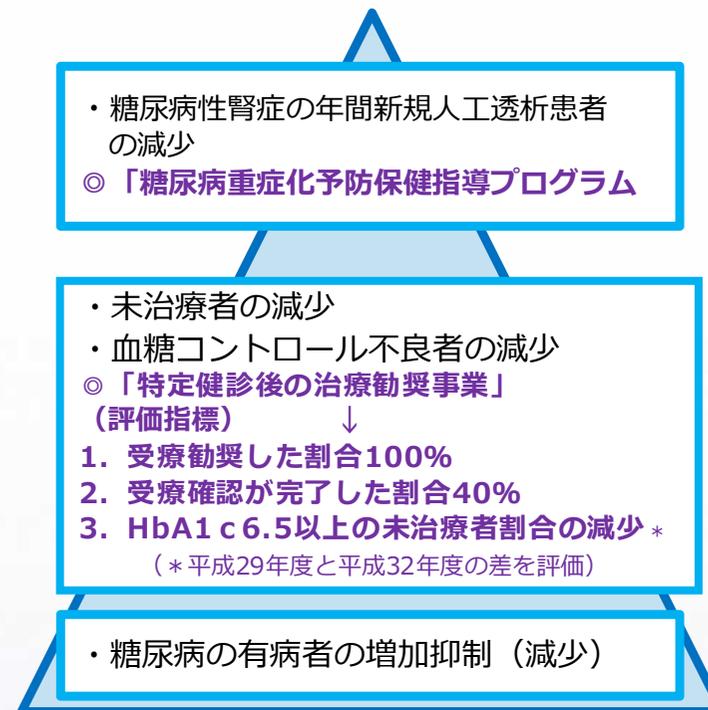
6. 優先的な保健事業の実施

生活習慣病重症化予防対策 (糖尿病重症化予防事業)

糖尿病対策の目標設定と対策



取り組みによる
全体数減少
を目指す



評価指標 (目標値) は平成32年度末時点

6.優先的な保健事業の取り組み 生活習慣病重症化予防対策 (糖尿病重症化予防事業 平成30年度の状況)



(1) 特定健診後の治療勧奨事業 (市保健師実施)

- ・特定健診の受診結果 (HbA1c・eGFR)が一定基準を超えているが、医療機関未受診者の方を抽出し、文書、電話あるいは訪問で受療勧奨を行う。

平成30年度実績 (2019.5月末現在) 対象者数34 評価 1.受療勧奨した者34 (100%)
2.受療確認数 26 (76.5%)

(2) 糖尿病重症化予防保健指導プログラム (外部委託)

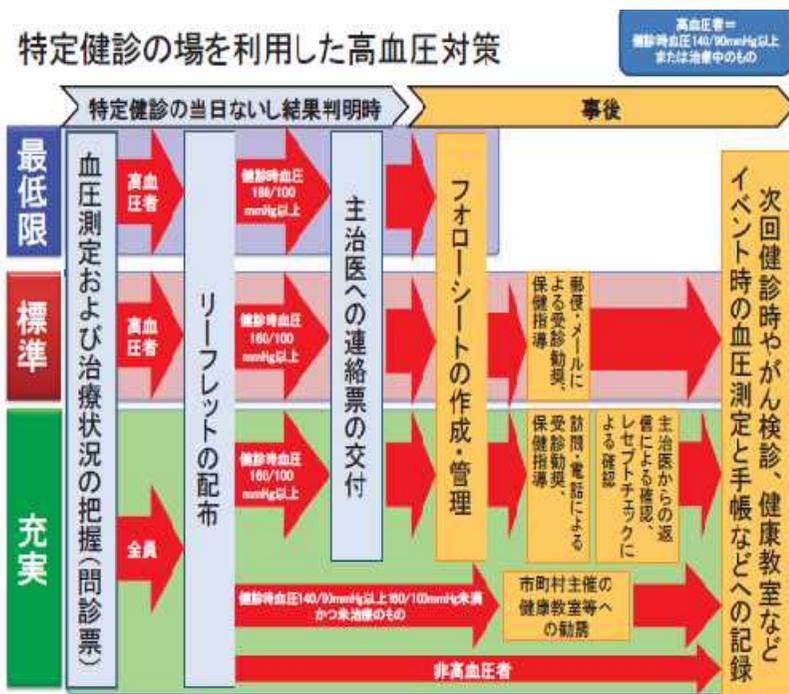
- ・糖尿病治療中で、糖尿病の合併症のひとつである糖尿病性腎症の方を、レセプトと特定健診データから抽出し、かかりつけ医の指示のもと、食事、運動などの生活改善に関する支援を6ヶ月間実施。(厚生労働省作成の「糖尿病重症化予防プログラム」をベースとした指導プログラム)

平成25年度から平成30年度まで68人に実施 (対象は944人) 平成30年度参加者10人
支援終了者から人工透析移行者は0人

平成31年度の取り組み・・・事業継続
糖尿病重症化予防保健指導プログラムの参加率向上についての検討

6.優先的な保健事業の取り組み 生活習慣病重症化予防対策

(高血圧症対策事業 平成30年度の状況)



(1) 未受診者への医療機関受診勧奨

- ・ 健診時血圧が160~/100~の未治療者に、保健師が電話あるいは訪問で、受療確認を実施。

(2) 治療中の高血圧者への支援

- ・ 服薬状況の確認や家庭血圧測定、生活習慣の見直しの指導を保健師が実施。

(評価指標 平成32年度末)

1. 受療勧奨した割合100%
2. 受療確認完了割合40%
3. II度以上高血圧未治療者割合減少*
(平成29年度と平成32年度の差を評価)

平成30年度実績 (2019.5月末現在) 対象数42

1. 受療勧奨した者42 (100%)
2. 受療確認完了数34 (80.9%)

大阪府行動変容推進プログラムに沿って充実レベルの高血圧対策を実施 (平成30年度から)

平成31年度の取り組み...事業継続

7. その他の保健事業

平成30年度の取り組み

○後発医薬品普及による医療費の適正化

ジェネリック医薬品差額通知カードの配布
ジェネリック医薬品の利用した場合の差額通知の実施

年3回 通知のべ件数2,743件
後発医薬品普及数量ベース70.3%
(国の目標値 平成35年度80%)

平成31年度の取り組み

○後発医薬品普及による医療費の適正化

ジェネリック医薬品差額通知カードの配布
ジェネリック医薬品を利用した場合の差額通知の実施・・・年3回予定

○服薬情報通知の送付（新規）

60歳以上で6種類以上の薬の処方を受けている被保険者に、「かかりつけ薬局」の利用促進のお知らせを通知（予定）